



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月14日

東

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所
 コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 安岡 信幸 (TEL) 0798(43)1065
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日 配当支払開始予定日 平成26年10月31日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	102,452	25.8	4,127	64.1	4,333	56.1	2,546	73.7
26年2月期第2四半期	81,438	12.9	2,515	△2.1	2,775	1.0	1,466	14.1

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 3,740百万円(139.8%) 26年2月期第2四半期 1,559百万円(6.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	90.95	—
26年2月期第2四半期	52.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	96,525	46,838	44.3
26年2月期	85,643	43,533	46.1

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 42,743百万円 26年2月期 39,493百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
27年2月期	—	14.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	204,000	20.5	7,000	23.2	7,300	19.1	4,100	23.7	146.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料の3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期2Q	32,267,721株	26年2月期	32,267,721株
27年2月期2Q	4,265,404株	26年2月期	4,265,241株
27年2月期2Q	28,002,417株	26年2月期2Q	28,005,066株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、円安効果による輸出関連企業の業績持ち直しにややかげりが見られ、国内に関しても、消費増税及び円安による原料価格の上昇によって国内消費は伸び悩み、景気の好転が実感しづらい状況となっております。当食肉業界におきましても、世界的な食肉需要の増加による原料価格の高騰や円安の進行などのコストアップ要因により利益率の低下に悩まされ、厳しい経営環境にさらされました。

このような経営環境のもと、当社グループは、かねてから食肉の生産から小売・外食までの食肉事業の垂直統合を推進しておりますが、その幹をさらに太く枝を広くすることにより、経営体質の強化と安定的な成長を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、国産牛の輸出事業に注力しました。平成24年に初めて海外に輸出し、その後アジア各国や米国への輸出を開始した神戸牛を、本年7月にはヨーロッパ（EU）へ輸出することを実現しました。国内販売に関しては、本年1月に株式会社フードリエ（本年8月にグリコハム株式会社から商号変更）がグループに加わり、グループ各社間相互の得意先、販売製品の営業、開拓を協力し合うことで、グループ全体の製品事業の底上げを図りました。

食肉等の小売事業においては、従業員の教育や作業オペレーションの改善、イベント等に向けた提案型販売の強化を進めました。食肉等の外食事業では、ステーキレストランチェーン事業の競争力向上のための施策を実施しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、新たに株式会社フードリエがグループに加わったこと、積極的な営業活動により取扱い数量が増加したことなどにより、売上高1,024億5千2百万円（前年同四半期比25.8%増）、営業利益41億2千7百万円（前年同四半期比64.1%増）、経常利益43億3千3百万円（前年同四半期比56.1%増）、四半期純利益25億4千6百万円（前年同四半期比73.7%増）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は875億4千6百万円（前年同四半期比30.7%増）、セグメント利益は37億7千6百万円（前年同四半期比60.5%増）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は102億1千3百万円（前年同四半期比3.6%増）、セグメント利益は5億6千2百万円（前年同四半期比46.1%増）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は38億7千5百万円（前年同四半期比2.3%増）、セグメント利益は2億4千8百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

④その他

売上高は8億1千7百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益は6千8百万円（前年同四半期比63.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて108億8千2百万円増加し、965億2千5百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う売上債権の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて75億7千7百万円増加し、496億8千7百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて33億5百万円増加し、468億3千8百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて25億9千7百万円増加し、170億4千7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、29億7百万円の収入（前年同四半期は21億5千3百万円の支出）で、主な増加要因は税金等調整前四半期純利益43億4千9百万円、減価償却費10億4千6百万円及び仕入債務の増加61億7千万円であります。一方、主な減少要因は売上債権の増加65億2千8百万円、たな卸資産の増加16億5千1百万円及び法人税等の支払額13億1千8百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、6億6千2百万円の支出（前年同四半期は24億2千1百万円の支出）で、支出の主なものは有形固定資産の取得による支出13億8千1百万円及び投資有価証券の取得による支出14億3千2百万円であります。一方、収入の主なものは投資有価証券の売却による収入17億2千万円及び貸付金の回収による収入15億9千4百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、3億7千3百万円の収入（前年同四半期は23億8千3百万円の収入）で、収入の主なものは長期借入れによる収入24億9千9百万円であります。一方、支出の主なものは長期借入金の返済による支出11億4千9百万円及び配当金の支払額3億6千3百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期通期の業績予想につきましては、本年8月11日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,454	18,041
受取手形及び売掛金	19,158	25,660
商品及び製品	8,323	9,634
仕掛品	3,304	611
原材料及び貯蔵品	2,166	2,485
その他	1,727	3,316
貸倒引当金	△209	△284
流動資産合計	49,926	59,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,566	27,424
減価償却累計額	△18,224	△18,498
建物及び構築物(純額)	9,342	8,926
土地	10,236	10,435
その他	21,578	21,933
減価償却累計額	△15,193	△15,445
その他(純額)	6,384	6,488
減損損失累計額	△653	△638
有形固定資産合計	25,310	25,211
無形固定資産		
のれん	31	25
その他	279	273
無形固定資産合計	310	299
投資その他の資産		
投資有価証券	6,948	8,715
その他	3,411	3,113
貸倒引当金	△263	△279
投資その他の資産合計	10,096	11,550
固定資産合計	35,717	37,061
資産合計	85,643	96,525

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,518	18,624
短期借入金	4,000	3,690
未払法人税等	1,090	1,415
賞与引当金	602	921
その他	6,648	6,973
流動負債合計	24,859	31,626
固定負債		
社債	80	60
長期借入金	12,495	13,029
退職給付引当金	2,023	1,921
役員退職慰労引当金	153	162
その他	2,497	2,887
固定負債合計	17,250	18,061
負債合計	42,110	49,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	11,952	11,952
利益剰余金	24,570	26,750
自己株式	△2,990	△2,991
株主資本合計	37,830	40,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,356	2,555
繰延ヘッジ損益	66	31
為替換算調整勘定	240	146
その他の包括利益累計額合計	1,663	2,733
少数株主持分	4,039	4,095
純資産合計	43,533	46,838
負債純資産合計	85,643	96,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	81,438	102,452
売上原価	68,828	84,827
売上総利益	12,610	17,625
販売費及び一般管理費	10,095	13,497
営業利益	2,515	4,127
営業外収益		
受取利息	12	17
受取家賃	82	44
受取配当金	70	101
負ののれん償却額	28	4
その他	232	261
営業外収益合計	425	428
営業外費用		
支払利息	72	88
貸倒引当金繰入額	41	—
賃貸原価	35	6
その他	16	127
営業外費用合計	165	223
経常利益	2,775	4,333
特別利益		
投資有価証券売却益	—	51
負ののれん発生益	112	—
受取補償金	47	—
その他	5	18
特別利益合計	165	69
特別損失		
固定資産処分損	7	27
減損損失	120	6
店舗閉鎖損失	26	9
その他	15	10
特別損失合計	169	54
税金等調整前四半期純利益	2,771	4,349
法人税等	1,180	1,686
少数株主損益調整前四半期純利益	1,591	2,662
少数株主利益	125	116
四半期純利益	1,466	2,546

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,591	2,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△307	1,207
繰延ヘッジ損益	7	△34
為替換算調整勘定	266	△95
持分法適用会社に対する持分相当額	1	0
その他の包括利益合計	△31	1,077
四半期包括利益	1,559	3,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,427	3,616
少数株主に係る四半期包括利益	132	124

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,771	4,349
減価償却費	805	1,046
減損損失	120	6
のれん償却額	5	5
負ののれん償却額	△28	△4
負ののれん発生益	△112	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	322
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△13	△101
受取利息及び受取配当金	△82	△118
売上債権の増減額(△は増加)	△6,013	△6,528
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,679	△1,651
仕入債務の増減額(△は減少)	3,020	6,170
その他	527	703
小計	△678	4,198
利息及び配当金の受取額	86	115
利息の支払額	△81	△88
法人税等の支払額	△1,479	△1,318
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,153	2,907
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	12	10
有形固定資産の取得による支出	△2,497	△1,381
無形固定資産の取得による支出	△4	△29
投資有価証券の取得による支出	△1,598	△1,432
投資有価証券の売却による収入	1,689	1,720
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△197
子会社株式の取得による支出	△115	△4
貸付けによる支出	△127	△1,042
貸付金の回収による収入	26	1,594
その他	194	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,421	△662
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,080	△310
長期借入れによる収入	2,840	2,499
長期借入金の返済による支出	△900	△1,149
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△335	△363
少数株主への配当金の支払額	△64	△64
その他	△236	△238
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,383	373
現金及び現金同等物に係る換算差額	52	△21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,137	2,597
現金及び現金同等物の期首残高	16,839	14,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,701	17,047

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の製 造・卸売事業	食肉等の小売 事業	食肉等の外食 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	66,963	9,857	3,789	80,610	828	81,438	—	81,438
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,210	30	78	3,319	67	3,386	△3,386	—
計	70,173	9,888	3,868	83,929	895	84,825	△3,386	81,438
セグメント利益	2,353	385	255	2,994	42	3,036	△520	2,515

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△520百万円には、セグメント間取引消去△12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△508百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売事業」及び「その他」において、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことにより減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「食肉等の小売事業」8百万円、「その他」112百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「食肉等の製造・卸売事業」において、連結子会社株式の追加取得により112百万円の負ののれん発生益を計上しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の製 造・卸売事業	食肉等の小売 事業	食肉等の外食 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	87,546	10,213	3,875	101,635	817	102,452	—	102,452
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,668	41	103	3,813	77	3,890	△3,890	—
計	91,215	10,254	3,978	105,448	894	106,343	△3,890	102,452
セグメント利益	3,776	562	248	4,588	68	4,657	△529	4,127

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△529百万円には、セグメント間取引消去△37百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△492百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。